

カモジグサ (髪文字草)

名前の意味：穂^いを草^みで作ったお人形^ほの髪^{かみ}にしたから。

分類：単子葉類、イネ科、カモジグサ属

(イネ科の栽培植物^{さいばいしよくぶつ}：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、林の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：斜^{なな}めに立ち上がる^た茎^{くき}、ノギ^{はり}(針^{はり}のような毛)の長い小穂

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離弁^{りべん} (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：5—7月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：アオカモジグサとは、熟^{じゆく}してもノギが反^そり返^{かえ}らないこと、小穂の一番外の葉のようなもの (包えい) がノギになることで、区別できる。ネズミムギと比較するとノギが太い。スズメノチャヒキの小穂には長い柄^えがあり垂^たれ下がる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)